



# きちきち ニュースレター

Vol.6  
2014年7月

発行:公益財団法人日本YWCA 基地チーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11

東京 YWCA 会館 302 号室

tel: 03-3292-6121 fax: 03-3292-6122

www.ywca.or.jp office-japan@ywca.or.jp

## 「島ぐるみ会議」結成

### 「沖縄征服総力戦」(!) に抗して

由井晶子

(「沖縄建白書の実現を目指し未来を拓く島ぐるみ会議」共同代表、元沖縄タイムス編集局長)

7月1日、政府は集団的自衛権行使容認を閣議決定しました。前夜から抗議のため永田町の官邸前に押し寄せた万余の市民。その目から隠されたもう一つの閣議決定がありました。沖縄の普天間飛行場の代替施設として、名護市辺野古に新基地を建設する準備工事の着手にかかわる予算措置、反対運動を排除する制限水域拡大の決定です。

早くもその日の朝、沖縄防衛局は、米海兵隊キャンプ・シュワブ内で、作業ヤード(護岸ブロックをはじめ建築資材や機械の仮置き場)設置のため、既存建物の解体工事に取りかかりました。シュワブ沿岸域、大浦湾には14隻の海上保安庁、防衛局の警戒船やら調査船が出ました。沖縄施政権返還時に取り決められた陸岸から最大50メートルの提供水域常時立ち入り禁止の範囲を最大2キロと広げ、ブイ(浮標)を設置する調査です。

この日、辺野古の海をじかに見に来ていたオーストラリア国立大名譽教授、ガバン・マコーマックさん(日本近現代史研究)は「安倍政権が沖縄を征服する総力戦を仕掛けてきた」と評しました。沖縄住民の辺野古反対運動を支援する世界的な知識人グループの1人です。

集団的自衛権行使の半面に、普天間よりも機能強化された米海兵隊基地の辺野古新基地建設推進、八重山・宮古の新たな要塞化があります。そうした

中、7月27日「沖縄『建白書』を実現し未来を拓く島ぐるみ会議」の結成大会が開かれます。沖縄の市民が主体となって、地球上の何びとにも許されているはずの、自分の土地・海・空を守る権利を求める運動を再構築します。基地に左右され続ける沖縄の未来を拒絶し、子どもたちに希望のある未来を引き継ぐ責務を全うするための結集です。

昨年1月28日沖縄県民の総意として、①沖縄米軍基地へのオスプレイ配備撤回②普天間飛行場の閉鎖・県内(辺野古)移設断念に集約された要求を盛り込んだ「建白書」に、県下全41市町村長、同全市町村議会議員、県議会議員、同全会派代表に主要経済・社会団体代表が署名して、安倍首相に手渡す「オール沖縄」東京行動を行って1年余。建白書は弊履のように扱われました。その後の苛烈な分断工作により、自民国会議員、県連は政府に屈し、「オール沖縄」は崩壊しました。

しかし、建白書はまだ生きている、今一度の結集をとの呼びかけにより、3月2日、初めての発起人会議には、県内の経済人、議会議員、大学学長クラスから若手の女性学者までの研究者、労組などの組織幹部、辺野古や高江・普天間ゲート前で抗議を続ける市民運動の人々、女性・平和・人権団体の幹部、ジャーナリスト、保守も革新も超えた沖縄の現況に危機感を抱く多様な人々が詰めかけ、熱気にあふれました。以後3回の協議、議員団会議を経て、ここに至りました。知事選の動きはなお流動しています。「島ぐるみ会議」は直接知事選目的でなく、長期的に反基地の県民要求を突きつける勢力を結集していくでしょう。

\*8ページに由井さんのご著書を紹介しています。

## 海底ボーリング調査@辺野古

### 沖縄防衛局が県に協議申し入れ

アメリカ軍普天間基地の移設計画を巡り、沖縄防衛局は、移設先とする名護市辺野古沿岸部で海底の地質を調べるボーリング調査を始めるため7月11日、沖縄県に対し、協議を申し入れる文書を郵送しました。

普天間基地の移設計画を巡り、沖縄防衛局は、去年末に沖縄県の仲井真知事が名護市辺野古沿岸部の埋め立てを承認したことを受けて、工事に向けて海底の地質を調べるボーリング調査の準備を進めています。この調査を始めるには、沖縄県の規則に基づき、サンゴ礁を含む海底の岩礁の掘削について県と協議する必要があり、防衛局がこの協議の申し入れ書を7月11日に県に郵送、7月14日に文書が沖縄県庁に届きました。

沖縄県は今後、文書に書かれている岩礁を破碎する場所や規模、漁業への影響などを検討した上で、県の考えを文書で回答することにしています。

沖縄防衛局は、沖縄県との協議が整い次第、早ければ7月中にも辺野古沿岸部でのボーリング調査を始めるものと報じられています。

また、沖縄防衛局はボーリング調査のあとに予定している埋め立ての本体工事に関する岩礁の掘削についても、知事の許可を求める申請書を提出しており、沖縄県はこの申請書についても今後、内容を審査することになっています。

参考:琉球新報・沖縄タイムス

### 沖縄YWCAの賛助員になって

#### ニュースレター「うーまん世」を読もう

沖縄に度々行くことができなくても賛助員として沖縄YWCAの活動をサポートすることができます。

「うーまん世」は、基地をめぐる状況がわかるほか、コラム「なるほど沖縄」など読み応えある内容です。

★沖縄YWCA賛助会費 年間1口3,000円

振込先:(郵便振替) 沖縄YWCA

口座番号:01720-6-101156

★お問い合わせ先:沖縄YWCA

[okinawaywca@yahoo.co.jp](mailto:okinawaywca@yahoo.co.jp)

## ジュゴンの食跡 110本

### 自然保護協会が確認@辺野古



日本自然保護協会(亀山章理事長)は7月9日、環境省で記者会見を開き、名護市辺野古の米軍普天間飛行場代替施設建設予定地で、今年5月から約2カ月間で絶滅危惧種ジュゴンの食跡が合計110本以上確認されたと発表しました。同協会は、埋め立て事業の中止と辺野古大浦湾の保全を求め、今後、同協会は、環境影響評価の再実施を国や県に働きかけていく考えです。

草食性のジュゴンは海草をえさとしており、ジュゴンが海草を食べると、ジュゴン・トレンチと呼ばれる溝のような白っぽい跡が残ります。同協会によると、「北限のジュゴン調査チーム・ザン」が5月16日~7月5日の間、埋め立て予定地周辺で調査を10回実施し、キャンプ・シュワブ沿岸域の美謝川河口付近などで食跡が確認されました。

ジュゴンは浅瀬の藻場を利用していると考えられていましたが、水深19.6メートルの深場にある藻場でも食跡が確認されたということです。同協会はシュワブ周辺の手草藻場で「ジュゴンの利用頻度が増加している」と分析しています。

沖縄のジュゴンは、世界で最も北に生息していることから「北限のジュゴン」と呼ばれています。

参考:琉球新報・沖縄タイムス



写真:琉球新報2014年7月10日記事より

# 高江ヘリパッド訴訟

## 最高裁 人権のとりでの使命を放棄

映画「標的の村」をご覧になった方はご存知だと思いますが、沖縄高江のヘリパッド建設をめぐり、工事に反対する住民に対して国が通行妨害の禁止を求めた訴訟で、最高裁は2014年6月18日、住民の上告を棄却、住民敗訴の判決が確定しました。棄却の詳細な理由は示されていません。

ブロッコリーのように木が生い茂り、世界的に貴重な自然が残るやんばるの森に、ヘリパッドをつくらせまいと2007年から反対して座り込みなどを続けていた住民に対して、2008年のある日突然、国から分厚い訴訟書類が送られてきて、工事を妨害していると訴えられてしまいました。この訴訟は「スラップ訴訟」として注目されてきましたが、司法はこれを追認したのです。最高裁は、人権の砦(とりで)としての使命を自ら放棄したと言えます。

国は、7月から高江ヘリパッド工事と辺野古のボーリング調査を始めるとしており、直前の棄却は反対する住民運動を萎縮させる目的があると指摘されています。高江の住民たちは「結果は予想できていた」「これまで通り反対していただけた」と淡々と語っています。

映画『標的の村』をまだ見ていない方は、ぜひご覧になってみてください！なぜ住民が抗議し、座り込んでまで反対しているのか、よくわかっていただけたと思います。

### \*スラップ訴訟とは

政府や企業など権力・資金力をもった者が、口封じのため弱者である個人を訴えること。恫喝訴訟、いやがらせ訴訟とも言う。

大久保生子(基地チーム 長)



出典元:沖縄県HP(米軍提供施設・区域の概要)

## 高江7周年報告会

去る6月29日(日)、「ヘリパッドいらない住民の会」が主催し、「高江7周年報告会」が東村農民研修施設で開催されました。

450人の参加者(主催者発表)があり、自然豊かなやんばるの森のスライドでの紹介や、高江住民によるフラダンスと古謝美佐子さんの歌など、楽しく、暖かい雰囲気になりました。高江に住むことが何よりの宝であり、幸せなのだと言えぬ報告会でした。

中野 夢(基地チームメンバー)



会場が一体になって「頑張ろう！」と声を合わせています。450名の参加は、関心の高さと緊急性が感じられる人数です。



## 特集

# なぜ辺野古に基地をつくるの？

沖縄では、すべての米軍基地が住民の生活環境を大きく破壊しています。その中で現在、重要な争点となっているのが、宜野湾市にある普天間基地と、その移転先とされている名護市辺野古です。

### (1) 少女暴行事件と SACO 合意

1995年9月、3人の米海兵隊員が12歳の女子小学生を誘拐して性暴力を加える事件が起きます。沖縄県警は米軍に対して容疑者兵士3人の引渡しを求めましたが、米軍は日米地位協定を理由に引渡しを拒否。県民の怒りは大きく燃え上がり、総決起大会には8万5千人が集まりました。日米両政府は「沖縄に関する特別行動委員会(SACO)」を設置し、96年、基地負担軽減策に合意(SACO合意)します。その中の目玉が普天間基地の返還でした。



### (2) 住民生活を破壊してきた普天間基地

普天間基地は宜野湾市の中心にあります。基地が市面積の1/4を占め、交通は遮断され、発展を妨げてきました。周辺は住宅地で、幼稚園から大学まで16の学校、病院や公共施設が多数あります。海兵隊の訓練は早朝や深夜まで行われ、ひどい時にはヘリコプターが30秒おきに民家の上空を通過するなど、「世界一危険な飛行場」と米軍も認めています。

普天間基地の返還の合意は、沖縄県民にとって大きな喜びとなりました。ところがそれには、「新たな基地を建設して移転する」条件がついていたのです。

### (3) 名護市辺野古海岸

移転先とされたのは、名護市辺野古でした。辺野古は小さな漁村です。沖合にはサンゴをはじめ希少生物が生存し、絶滅危惧種のジュゴンの生息も確認されています。沖縄本島の中では自然が残る貴重な地域です。

1997年の市民投票では、反対が過半数を占めます。そこで政府は次々と地域振興策を打ち出し、市長や県知事、議会では賛成派が多数になります。しかし住民は粘り強く反対運動を続けました。基地建設には環境影響評価(アセスメント)が必要ですが、陸上での座り込みや海上での阻止行動によりアセスを行わず、辺野古移設は頓挫しました。

### (4) 鳩山内閣の発足と沖縄の期待

2009年9月に民主党が政権につき、鳩山由紀夫首相が普天間基地の県外・国外移設を主張したことに沖縄は大いに期待します。しかし、辺野古移設を進めたい政治家・官僚・マスコミによる謀略で崩壊、日米両国政府は辺野古移設で再合意してしまいます。

その間に沖縄では、2010年1月の名護市長選挙で建設反対派の稲嶺進さんが当選。11月の県知事選挙では、賛成派だった仲井真弘多知事が、県内移設反対を公約に掲げて再選を果たすなど、県は一体となって反対を表明します。

## (5) 仲井真知事の裏切りと稲嶺進市長の再選

2012年9月、普天間基地に米軍最新鋭輸送機オスプレイの配備が強行されました。オスプレイ配備の撤回と普天間基地の即時閉鎖は、県民全員の強い願いとなっていきます。2013年1月、沖縄のすべての市区町村の首長は「オール沖縄」体制の建白書を政府に提出します。

ところが、県内移設反対の立場をくずさなかった仲井真知事が、2013年12月、突然に辺野古埋立承認を表明。県民に対する裏切りでした。それに対する回答のように、2014年1月、名護市長選では反対派の稲嶺進市長が再選されました。



普天間基地のオスプレイ

## (6) なぜ辺野古の基地建設に反対するのか

米軍はもともと、ベトナム戦争のころから辺野古の基地を計画していたことが後に判明します。発端となった少女暴行事件からSACO合意まで1年という期間は短すぎると疑問に思った沖縄の人々が、古い公文書からを見つけました。さらに、辺野古を米軍の一大拠点基地となる要塞にするつもりだろうと予想します。周辺には、すでに駐屯地や訓練場や弾薬庫があり、そこに新たに飛行場と軍港をつくらうとしているからです。

つまり、普天間基地を閉鎖することと、辺野古に新しく基地をつくることは、まったく別々の問題なのです。日米両政府は、まるでこの二つがセットであるかのように「移設」や「代替」と発表しており、私たちはそのように思い込まされています。

仮に辺野古に新しい基地ができたとしても、普天間基地が返還される確証はありません。新しい基地は最新の機能を備えて、100年間は使い続けるといわれています。そうなれば沖縄は永久的に基地の島になってしまうのです。

参考資料「STOP!!米軍・安保・自衛隊」サイト



辺野古テント村

## 沖縄と東京・全国・世界の各地で

# できること～！

### ●辺野古で

6月28日辺野古海岸で、米軍新基地建設に反対する「海底ボーリング調査反対集会」(主催・ヘリ基地反対協議会)が開かれ、約300人が駆けつけました。カヌー練習も行われ、金井創さん(佐敷教会牧師/沖縄YWCA会友)も指導。金井さんは6月からフェイスブックで「本格的な工事が始まってしまえば阻止するのは困難です。今です。時間と思いのある人は辺野古に来てください。」と呼びかけています。

政府は海底ボーリング調査と、北部訓練場のヘリパッド建設工事をほぼ同時期に着手することを含めて検討に入りました(6月28日琉球新報)。オスプレイが着陸するやんばるの森も辺野古の海も、世界自然遺産に匹敵する私たちが誇れる自然です。

### ●防衛省前抗議@東京

東京では毎月第一月曜 18時30分から防衛省前抗議を行っています。特に7月は7月7日、7月28日に「辺野古の海に杭は打たせない。ボーリング阻止行動」を行います。7月19日(土)は「辺野古の海を埋め立てるな！新基地建設を許さない7・19集会&デモを千駄ヶ谷区民会館で14時～集会、16時半～デモを予定しています。

連絡先: 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック

090-3910-4140 <http://www.jca.apc.org/HHK/>

衆議院議員会館や参議院議員会館の議員事務所を訪問し新基地建設反対の意見を伝えましょう。

### ●どこでも

全国各地で開催されている映画『標的の村』上映会に参加することも、沖縄を知るために阿波根昌鴻著『命こそ宝—沖縄反戦の心』(1992年、岩波新書)や由井晶子著『沖縄 アリは象に挑む』(2011年七つ森書館)など自分にあった本を探して読むことも大きな行動です。それがワシントン平和大行進に連なることや名護市長訪米活動、バンクーバー9条の会の活動につながります。それぞれの場で、できることをしましょう！

左記以外に

### \*インターネットで

沖縄タイムス・琉球新報・琉球朝日放送などのニュースを読む。「辺野古浜通信」「海鳴りの島から」「やんばる東村高江の現状」「ヤマヒデの沖縄便り」等のブログを読む。

### \*Facebookで

三上智恵さん・金井創さんの発信を読みシェアする。

### \*辺野古新基地建設に反対する署名をする

<http://chn.ge/1glVJSw>

\*「標的の村」次回作、「三上智恵監督新作製作のための製作協力金カンパのお願い」に協力する。

<http://ameblo.jp/datsugenpatsu1208/entry-11890064074.html>

\*辺野古と高江へ応援ハガキやカンパを送る。

高江送付先: 沖縄県国頭郡東村高江上新川 85-2  
ヘリパッドいらぬ住民の会 辺野古⇒8ページ

\*選挙区など国会議員と話す。意見を送る。

●こうして得た情報や「沖縄の現実」を広げましょう。

●沖縄への圧力に対して、政府に抗議する人の輪を増やしましょう。

長谷川りゑ子(基地チームメンバー)

辺野古も高江も、抗議行動に集まってくれる人を募集しています。

現地に行ける人はぜひ駆けつけてください！

「辺野古浜通信」2014.7.7 から

**【結集を！】本日よりシュワブ第一ゲート前での抵抗がはじまります。**

<http://henoko.ti-da.net/e6503920.html>

今日からシュワブ第一ゲート前での抵抗がはじまります。市民に対する、軍隊と警察が一体となった執拗な嫌がらせが(たまにプチ右翼のも)予想されます。

多くの市民が意志を示すこと、目撃者となることが何よりも大切です。

一人でも多くの参集と協力を切に願います。土曜日のアピール行動への支援、参加も、子どもたちの安全をはかる上でも、ぜひ重ねてお願い申し上げます。

# 米軍専用レーダー基地が 建設されようとしています！

**@京都府京丹後市**

京都府京丹後市経ヶ岬に米軍基地がつくられようとしています。政府発表や報道では「米軍専用レーダー設置」と表現されていますが、その実態は、レーダーを設置し、民有地約 5ha を日本政府が借り上げ、160 名の米軍人・軍属が駐在する米軍基地を建設する計画です。



2013 年 2 月に日米首脳会談でその計画が「合意」されましたが、京都府や京丹後市・住民に対して十分な説明がなく、建設計画を知らない京都府民が大勢いる中、こうした状況下、国は、米軍レーダーの照射面にある自衛隊の設備をすでに撤去。また地権者に高額な契約金(1 平米 1300 円、1 年更新)を提示し契約手続きを強引に進め、去る 5 月 27 日(火)朝、建設工事を着工しました。

X バンドレーダーとは、長距離ミサイルを探知するためのものであり、日本ではなく、アメリカ本土・ハワイ・グアムなどの米軍基地を防衛することが目的。レーダーは強力な電波を発するため、

健康・生活・環境への悪影響が指摘されています。



京丹後市  
経ヶ岬は、  
静かな農  
村・漁村で、  
袖志の棚  
田・山陰海  
岸ジオパ  
ーク・丹後



天橋立大江山国定公園など豊かな自然と文化遺産であり、絶滅危惧種のハヤブサの生息地でもあり、多くのサーファーや観光客が訪れています。

京都 YWCA では、5 月 17 日(土)京丹後へのスタディツアー実施。また、4 月 22 日に「京都府京丹後市における「X バンドレーダー」の設置計画の中止・撤回を求める声明文」を京都府知事・京丹後市長宛て



提出し、計画の中止を求めています。

## 【基地建設を止めるために声をあげましょう】

1. 電子署名:「京丹後(京都)米軍レーダー基地計画を考えなおしてほしい！」(取りまとめ:京都丹後の未来を考える会)  
<http://www.change.org/ja/キャンペーン/京丹後-京都-米軍レーダー基地計画を考えなおしてほしい>
2. 抗議行動に参加する:さまざまな抗議行動が次々に生まれています。街で声をあげよう！スワロウカフェのブログと twitter @noseokinawa でも随時、アクションを伝えています。
3. 防衛省に「不安」を「相談」しよう:京都・米軍基地建設に関する相談窓口  
090-9047-5234  
ホットラインは、平日だけでなく、土日祝日も相談を受け付け。皆さんの「不安」を「相談」しよう。⇒  
<http://blog.livedoor.jp/noarmydemo/archives/35812593.html>

## 辺野古テント村に暴力行為

米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設反対を訴える拠点として、市民らが座り込みを続ける名護市辺野古のテント村が、6月20日(金)午前、何者かに荒らされているのを、ヘリ基地反対協議会の安次富共同代表が確認しました。看板やこれまでの闘争などを示す展示や、全国から送られた折り鶴などが引きちぎられていました。

安次富代表は「こんなことは初めてだ。折り鶴には子どもの平和を願う思いが込められており、その善意も踏みこむ行為だ。非常に恥ずかしい行為だ」と憤り、関係者からも怒りの声が上がっています。

テント村は米軍普天間飛行場の移設に向けたポウリング調査の阻止や海上基地建設反対を訴える拠点となっており、座り込みは今年で10年目を迎え、この日で3715日となりました。沖縄への政府の動きと連動し、反対運動に対する過激な嫌がらせが増加傾向にあります。



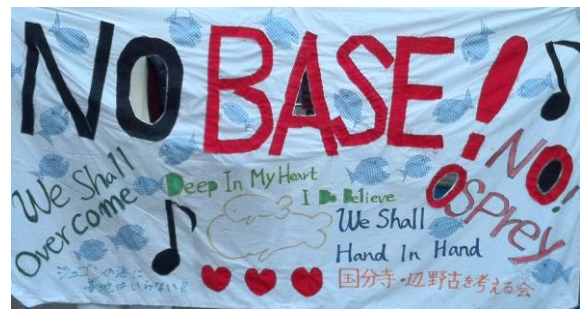
(写真出典:琉球新報電子版)

## 辺野古に

## バナーを送ってください!

左の記事にもある通り、日本政府の動きに呼応するように、テント村への妨害行動が激化しています。また米軍兵士は横断幕を焼くこともあり、張ったそばからはがされるので数多くのバナー(横断幕やはた)を送っていただけると幸いです。バナーには一人ひとりの想いを書きましょう。

\* バナーに個人名を記す必要はありません。



### ●布の大きさは自由

\*ハンカチや古いシーツ、TシャツでもOK☆)

\* フェンスに結ぶためのひもを必ずつけてください。

### ●メッセージは、寄せ書きでも、一人でも、布いっぱいに想いを込めてください!

\* 英語表記の方が、米兵に直接伝わりやすく影響力が増します。

\* バナーへのお名前前の記載は不要です。

### ●辺野古に送らしましょう!

送付先: 〒905-2171 沖縄県名護市辺野古「座り込みテント村」行

封筒にお名前(または団体名)と連絡先もご記載ください。

【運営責任団体】ヘリ基地反対協議会

## 本の紹介 『沖縄 アリは象に挑む』



由井晶子: 著  
定価: 1800円 + 税  
発行: 七つ森書館  
(2011年06月)

「沖縄にかかわった人々すべてが、まず安保を押しつけてい

いのかの問題に持続的に取り組んで欲しいと切に思う」。辺野古・高江の新基地建設問題を中心に、沖縄を定点観測した記録。ぜひご一読ください!